

B 1 3 2 (PC 実習あり)		<h2 style="margin: 0;">実務のための基礎特許情報分析 (Ⅱ)</h2>
講座レベル ★★★		～特許情報のまとめ方と分析～
講 師	井手 功人 (日本パテントデータサービス㈱ 知財研修部 課長)	
日 程	東京会場 8 月 27 日 (水)、2026 年 2 月 19 日 (木)	
時 間	1 日間 (10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45	
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html	
定 員	東京会場：14 名 (先着順申し込み)	
受講料	22,000 円 (税込 24,200 円)	
対 象	研究・開発部門の技術者、特許調査部門の調査担当者	
内 容		
<p>これから特許情報分析をはじめようという方、特許情報分析を行ってみたがなかなか目的に沿った分析結果にまとめられないとお悩みの方、研究開発部門に在籍していて独自に開発テーマ探索を行う必要がある方向けに、特許情報分析のいろはを学ぶ講座です。本講座では、目的別の特許情報分析のやり方、分析結果の読み取り方や結果のまとめ方を解説し実習を通して理解を深めます。最終的には、自らのテーマに沿った特許情報分析を目指します。</p>		
プログラム		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業活動における特許情報の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究開発と特許情報の関係 ・ 研究計画から実用化までの流れ ・ 技術動向の「可視化」～特許マップ～ ・ 特許マップによる可視化と用途 2. 特許情報分析のやり方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 技術動向調査から研究開発計画への流れ (統計分析と詳細分析) ・ 技術動向調査の事例～具体事例でアプローチを確認～ ・ 分析のまとめとその考察 3. 特許情報分析実習 (仮想事例による分析) <ul style="list-style-type: none"> (実習 1) 分析資料を使った情報の読み取り (個人実習) <ul style="list-style-type: none"> ・ 統計分析、詳細分析資料 (特許マップ) を使った情報の読み取り ・ 読み取り結果のまとめ (実習 2) 分析結果の活用 (ディスカッション) <ul style="list-style-type: none"> ・ 企業情報の収集と分析 ・ 特許情報分析の結果との比較・検討 ・ 結果のまとめ～研究開発戦略、特許出願戦略の方向性を検討～ 		

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL:<https://www.jpds.co.jp/seminar/application2025.html>

【備考】

- ・ 本講座は、「実務のための基礎特許調査 (Ⅰ、Ⅱ)」講座をすでに受講された方にお勧めいたします。
- ・ セミナーでは、一部特許情報解析ソフト「ぱっとマイニングJP」の使用を予定しております。(PCは当社にてご用意いたします。)
- ・ セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。